

旭丘高校教育通信

—新設・総合学科「国際クラス」特集号Part2—

国籍の違いを越えて絆を結び

一人ひとりの夢実現をサポートします!

2020年度から旭丘高校に総合学科

「国際クラス」が新設されます

●旭丘高校は来年度の生徒募集で総合学科に「国際クラス」を設置します。

旭丘高校は、2012年の創立110周年を機に「国際連携教育」に力を入れて来ました。特に中国の二つの姉妹校〔陝西省西安外国語大学附属西安外国語学校と河南省安陽市開発区高級中学（日本の高校）〕との間で相互訪問による高校生の文化・スポーツ・授業交流を重ねて来ました。こうした交流の発展のなかで、二つの姉妹校と新たな留学生制度を創設する共同事業が始まりました。

また、2016年4月に総合学科スポーツ進学クラスに入学したモンゴルからの二人の留学生は、本校の3年間の教育課程で学び、相撲の全国大会で優れた戦績を残すとともに、学業においても良好な成績を修めて卒業。現在は日本体育大学に進学し活躍しています。

旭丘高校は、こうした国際連携教育の実績をふまえて、2020年度から総合学科に「国際クラス」を新設することとなりました。

●総合学科のカリキュラムの特徴を活かし、生徒たちの多様なニーズに応えます。

旭丘高校総合学科のカリキュラムには、必修科目・共通履修科目と共に「情報」「ビジネス」「国際」「福祉」「アート」「スポーツ」など幅広い選択科目が多数配置されています。新設される「国際クラス」では、こうした選択科目と単位制総合学科の柔軟なカリキュラム運用を活かして、異なる国籍と個性・進路の求めを持つ生徒たち一人ひとりのニーズに応える学びを創造します。

Q & A 旭丘高校総合学科「国際クラス」紹介

【Q1】「国際クラス」の対象となるのは、どのような生徒ですか。

【A1】このクラスでは、次の三つのタイプの生徒たちを受け入れます。

①将来国際社会で活躍したいと願う日本人の生徒。

②日本で生活する多国籍の生徒。

☆例えば帰国子女や保護者の仕事などの関係で日本に在住し日本語の習得に特別なニーズを持つ生徒です。

③海外の中学校を卒業し日本の高校への留学（入学）を希望している生徒。

※上記①・②については、日本国の中学校を卒業した者が、③については、外国において学校教育における9年の課程を修了した者が入学資格を有します。

※入学選考については、それぞれのタイプの生徒に適した方法を検討しています。

【Q2】日本に来て年数が浅い外国籍の生徒や海外から入学する留学生に対しては、どのような学びが用意されているのですか。

【A2】こうした生徒たちが学習するカリキュラムは、①体系的・系統的な日本語学習、②学習指導要領上の各教科目の学習、③日本の社会や文化にかかわる学習を柱として構成されます。

①については、それぞれの日本語習得の度合いに合わせて、高校3年間を通して「会話（対話）」「聴く」「話す（表現）」「読む」「書く」「漢字学習」等の体系的な日本語学習が出来るように選択講座を活用してカリキュラムを編成します。

②については、原則として日本人の生徒たちと一緒にクラスで授業を受け、それぞれの科目の性格に応じたサポート態勢を取ります。

③については、日本の社会や文化に対する理解を深め、日本で自立した生活が営める力を培う学習内容を位置づけます。また、同時に、母国の歴史・社会・文化についての理解も深め、二つの国の言語や文化を身につけた者としての進路や生き方を探求できるようにします。

【Q3】日本人の生徒たちの「国際クラス」での学びの特徴を教えてください。

【A3】日本人の生徒たちは、①学習指導要領上の必修科目・共通履修科目の学習をベースとしながら、②選択科目を活用して、国際社会にかかわる多様な学習（※1）を進め、さらに③授業とホームルーム活動などで展開される多国籍の生徒との交わりを通して、お互いを人として尊重し、お互いの文化を理解し、国際的な視野で物事をとらえて共に共同しあう等の国際社会を生きる資質を培います。

また、国際交流体験や海外留学に対しての積極的なサポートも行います。

※1. 予定している開講科目は、「異文化理解」「現代の国際社会」「グローバル観光学」「海外留学入門講座」や「外国語の言葉と文化にかかわる講座」です。（旭丘高校総合学科では、中国・韓国・イタリア・モンゴルの言葉と文化を学ぶ講座が既に開講されています）

【Q4】「国際クラス」での、進路（進学）指導はどのようになされますか。

【A4】①国際的な分野にかかわる仕事に就きたいと願う日本人の生徒たちや、②日本社会で働く力を身につけ自立したい、あるいは日本で身につけた知識や技術を持って母国に帰り社会に貢献したいと願う外国籍の生徒たちに対して、自分が将来なりたい職業を見出すことにより上級学校（大学・短大・専門学校など）で学ぶ分野を決めていく旭丘高校のキャリア教育の特徴を生かし、一般入試・推薦入試・AO入試など多様な入試制度を活用して進学・進路の実現をサポートします。

特に旭丘高校で日本語の力を身につけて大学に進学したいと願う外国籍の生徒に対しては、通常の授業での学習に加えて補習・補講や自学・自習のサポートを行い、大学で学習する上で必要な日本語能力検定試験N2やN1に合格する力を身につけることを目的に学習を進めます。

★裏面に3年間のカリキュラム試案を掲載します。

旭丘高校「国際クラス」に関心のある方へ

①毎回の体験入学で全体会終了後に特設説明・相談会を設けます。

※事前申し込みは不要です。当日会場をご案内しますのでご参加ください。

②旭丘高校の入試センターでも常時相談を受けています。

※希望の日時を旭丘高校事務室（Tel:0465-24-2227）までご連絡ください。

旭丘高校総合学科「国際クラス」の3年間の学習モデル (現在検討中です、想定されるモデルをお示しします)

◆下記の学習モデルにある教科目のうちで、

- ※「総合技術Ⅰ・Ⅱ」は現代社会の技術の基礎を学ぶ本校独自のユニークな教科目(学校設定教科目)です。
- ※太枠内が、総合学科の特色ある科目と総合選択・自由選択科目です。

◎総合学科「国際クラス」で大学進学を目指す生徒には特別奨学生制度があります。

●日本語を基礎から学ぶ必要がある外国籍の生徒Aさんや留学生Bさんの場合

1年	産業社会と人間	数学Ⅰ	化学基礎	体育	保健	コミュニケーション英語Ⅰ	社会と情報	日本語学習Ⅰ			日本の社会と文化	総合B	LHR
2年	現代文B	コミュニケーション英語Ⅱ	世界史A	日本史A	家庭基礎	体育	保健	日本語学習Ⅱ			日本の社会と文化	総合B	LHR
3年	現代社会	体育	科学と人間生活	芸術選択	日本語学習Ⅲ			進路(進学)対応講座	課題研究(インターンシップ) ※地域の事業所で就労体験		総合B	LHR	

※日本語学習については、各学年に8~10単位を配置し、毎日連続して日本語の学習が出来るように配慮して時間割をつくります。その内容は、「会話(対話)」「聴く」「話す(表現)」「読む」「書く」「漢字学習」等の分野を系統的に学びます。

※大学などの上級学校に進学したいと願う外国籍の生徒には、通常の授業での学習に加えて補習・補講や自学・自習へのサポートを行い、上級学校で学習する上で必要な日本語能力検定(N2やN1)などに合格する力を身につけることを目的に学習を進めます。また、必要となる文系・理系科目の学習については、3年次の進学対応講座や補講などによってカバーできるようにします。

※「日本の社会と文化」は、日本の社会や文化に対する理解を深めて日本社会で自立する力をつけることを目的とし、外国籍の生徒の学習や生活に関する悩みや課題にも応え、キャリア・進路指導も行います。

●将来、福祉や観光と結んで国際分野で仕事をしたい日本人Cさんの場合

1年	産業社会と人間	国語総合		数学Ⅰ	化学基礎	体育	保健	コミュニケーション英語Ⅱ	社会と情報	総合技術Ⅰ	異文化理解	中国語Ⅰ	総合B	LHR	
2年	現代文B	コミュニケーション英語Ⅱ	世界史A	日本史A	家庭基礎	体育	保健	総合技術Ⅱ	社会福祉基礎Ⅰ	社会福祉援助技術Ⅰ	グローバル観光学Ⅱ	海外留学入門講座	中国語Ⅱ	総合B	LHR
3年	現代社会	体育	科学と人間生活	芸術選択	社会福祉基礎Ⅱ	社会福祉援助技術Ⅱ	グローバル観光学Ⅱ	多文化共生学	現代の国際社会	中国語Ⅲ	課題研究(インターンシップ) (福祉施設で体験実習)		総合B	LHR	

※大学進学を希望する生徒は、上記のような多彩な国際社会にかかわる選択科目とともに、大学進学に必要な理系・文系の科目や大学での学習の基礎となる科目を選択科目で履修・習得することができます。

※国際的な分野で仕事をするために英語力をスキルアップしたいという生徒についても、総合選択・自由選択の講座から英語の科目を多く選択することが出来ます。

※この学習モデルでCさんは中国語を3年間学んでいますが、旭丘高校ではすでに中国語の他に「韓国語」「イタリア語」「モンゴル語」の講座が開講されており、これらの国の言葉と文化にかかわる選択科目を履修することができます。

紹介 旭丘高校のグローバル教育で学ぶ生徒の声

●金先生の韓国語講座を受講して

★韓国に友達がいるので、アプリで通訳せずに、言葉で会話してみたいと思います。今年も韓国へ旅行に行くので、たくさん友達を作りたいと思います。実際に向こうで買い物する時や、どこかへ行きたい時に、とても役に立つと感じました。日常会話や、ちょっとした会話文を覚えるだけでこんなにも会話のバリエーションが増えると思いませんでした。今度友達に会う時に「何で話せるの!？」と驚かせたいです。(総合学科2年生・Eさん)

★高校三年間、僕自身K-POPに興味を持ち、韓国についてもっと詳しく知りたいと思ったのが韓国語を勉強するキッカケでした。金先生の授業は、韓国料理の実習や韓国の若者の流行の紹介など、とても参考にしたいものばかりでした。僕は韓国が好きなので、これから先、若者同士で、関係を良くしていけたらとても幸せですし、よりお互いの良い所を探しだせるのではないかとおもいました。最後にキム先生、1年間ありがとうございました。僕達を愛し、接してくれたキム先生にはとても感謝しています。これからはお身体にお気をつけ下さい。(総合学科3年生・Kくん)